

2025年度 自己点検評価 織田きもの専門学校

作成日2026年4月1日

学校の理念と教育目標

【理念】 現代社会及び産業界において必要とされる人材の育成。

【目標】 ・「明るい挨拶良い返事」「低賞感微」を生活理念としたコミュニケーション能力の修得。

・和服及び日本文化に関する幅広い知識と技術の修得。

3段階評価 3…基準を上回り、特筆すべき取組等を行っている 2…基準をおおむね満たす 1…基準を満たしておらず改善が必要

大項目	小項目	評価の基準	自己点検 評価結果
項目1 教育理念・目的・目 標	1 教育理念、目的及び 目標の設定等	教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしていること。	3
		各学科の教育目標・育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられていること。	3
		教育理念やポリシーが学内外に広く公表されていること。	3

【評価結果の自己分析】

教育理念、目的、目標は学則に明記し、WEBサイト情報公開や、学校パンフレット等で公開している。
また、就職先企業や、染織産地企業より授業を受ける機会を設け、業界からのニーズに方向づけている。

【今後の改善方策】

*評価が1,2だった点検項目について記入

--

大項目	小項目	評価の基準	自己点検 評価結果
項目2 教育課程、教育の 実施、学修成果	1 教育課程の編成と授業科目	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成した上で、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置していること。	3
	2 教育の実施	授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っていること。	3
	3 単位・卒業認定	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針（資格・免許等を含む修得させる職業能力を含む）を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしていること。	3
	4 学修成果目標の達成 状況	卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得（資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得含む。）についての目標を定め、その目標が達成できていること。	2
		学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できていること。	2

【評価結果の自己分析】

授業科目や、授業内容、単位数、は、WEBサイトで情報公開している。
職業能力基準として、各種検定試験を目標に掲げているが、合格基準に達成できなかった学生が一定数いる。
希望する進路目標(就職)は条件(地域等)を限定しなければ達成することは充分可能であるが、条件を絞ってしまうことで、達成できないこともある。

【今後の改善方策】

*評価が1,2だった点検項目について記入

カリキュラムの見直しをすることで、自主学習ができる時間を設けることができているので、検定試験合格に向けて合格基準に達成できるように授業以外にも取り組むことで、合格率の向上を図っていく。
企業との連携を構築し、窓口を広げていく。

大項目	小項目	評価の基準	自己点検 評価結果
項目3 学生の受入れ、学生支援	1 学生募集及び入学者の選抜、収容 定員の管理	入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、合否を決定していること。	3
		学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っていること。 注)修学支援新制度機関要件の確認	3
	2 自主的な学習の促進に対する支援	学生の学力や学習状況を把握し、補習授業を行うなど学習支援に取り組んでいること。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っていること。	2
	3 学生生活に関する支援	カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること。	3
		留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っていること。	3
		学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用していること。	3
		学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	3
		学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	3

【評価結果の自己分析】

学生募集については、学則に従い適切に行い、入学者募集要項等に適切に明記している。
 外部の専門機関と連携したメンタルヘルス相談体制を整備している。
 奨学金制度を学生に周知する、学費の分納制も必要に応じて進めている。
 外部企業からも求人掲載のできるWeb通信システムを活用し、卒業後も利用できるようにしている。

【今後の改善方策】

*評価が1,2だった点検項目について記入

自主的な学習支援をする体制は、整えているが、学生自身が取り組もうとする姿勢が弱く、結果に結びついていない。学ぶ方向性を導いていく。

大項目	小項目	評価の基準	自己点検 評価結果
項目4 教育実施組織・教員	1 教員の配置、募集、採用	教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等(教員の採用基準等)を整備し、適正に運用していること。	3
		教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握していること。また、教員の専門性、教授力を把握、評価していること。	3
	2 教員の組織編制等	学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めていること。	3
		教員間で連携、協力体制を構築していること。	3
	3 教員の資質の向上	学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っていること。	3

【評価結果の自己分析】

教員採用におきましては、一定基準の専門知識を重視の上、採用をしている。また、常勤教員、非常勤教員、共に授業数、授業内容をシラバスにて管理している。
 教員の業務体制は、PCやタブレットで共有し管理している。
 教員研修は定期的実施している。外部研修についても参加できる体制を整えている。

【今後の改善方策】

*評価が1,2だった点検項目について記入

--

大項目	小項目	評価の基準	自己点検 評価結果
項目5 教育環境	1 教育環境の整備	教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えていること。	2
		インターネット接続環境を整え、学生が必要に応じて情報検索等が出来ること。	2
	2 安全対策、防災組織	学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること。	2
		火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営していること。	2
	3 施設・設備等の点検、改善等	施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っていること。	3
		施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施していること。	2

【評価結果の自己分析】

安全対策や施設設備の点検は、定期的に行っているが、設備が老朽化をし始めている個所も見受けられる。
インターネット環境は、一部のみ使用できている。

【今後の改善方策】

*評価が1,2だった点検項目について記入

インターネット環境は、随時整えているところ(今春にも改善)。
施設の整備、改修を随時行っていく。

大項目	小項目	評価の基準	自己点検 評価結果
項目6 教育活動の基盤と 改善・向上の取組	1 中期事業計画と財務 基盤	学校が策定している事業計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられていること。	3
		学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること。	3
	2 学校運営	学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること。	3
	3 学校評価の実施と改 善活動	学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用していること。	3
		学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表していること。	3
		学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っていること。	3
	4 社会からの理解と情 報の公表	当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表していること。	3

【評価結果の自己分析】

WEBサイト情報公開で、事業計画を公開し、教育目標として実施している。
学校評価を行い、現状の実態の把握・理解、問題点の改善に努めている。
学校関係者評価委員会での意見を重視し、向上に努めている。

【今後の改善方策】

*評価が1,2だった点検項目について記入

--